

第4学年 国語科学習指導案（話すこと・聞くこと領域）

考えをまとめるために、役わりをいしきしながら話し合おう

中心学習材「クラスみんなで決めるには」（光村図書4年下）

1 単元の構想

(1) 子供の実態

- ・話し合うことにおいて、司会・記録係・時間係の役割があることや、目的や進め方を確かめることで意見をまとめる話し合いができることを理解している。
- ・「書くこと」や「読むこと」に比べ、「話すこと・聞くこと」に苦手意識をもつ子供が多い。
- ・話し合いにおいて、意見を整理し、友達の意見を受け入れながら考えをまとめていくことは難しい。

(2) 身に付けたい国語科固有の資質・能力

<指導事項の系統>（既習事項）

- ・話題に沿って話す。（2年）
- ・考えと理由を話す。（2年）
- ・友達の考えのよさや、自分の考えと比較して聞く。（2年）
- ・話し合いの目的、決めること、決め方を確かめて話し合う。（班で）（3年）
- ・役割（司会・記録・時間）（3年）
- ・意見の整理、司会の言葉（3年）
- ・メモの仕方（4年）

<付けたい力>（重点指導事項）

- 〔知〕 比較や分類の仕方、必要な語句の書き留め方を理解し使う力（(2)情報の整理イ）
- 〔思〕 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめる力（A話し合いの進め方の検討、考えの形成、共有オ）
- 〔主〕 目的に応じて進んで意見を述べ、役割を意識しながら話し合おうとする力

(3) 主となる言語活動とその特徴

言語活動 考えをまとめるために、整理しながら学級全体で話し合う活動

- 特徴
- ①司会者、参加者がそれぞれの役割を意識することができる。
 - ②話し合いの目的や条件、話し合いの計画を共有することができる。
 - ③意見の共通点や相違点に着目し、比較・分類しながら、整理して話し合うことができる。
 - ④それぞれの意見を尊重しながら、よりよい結論を出すための合意形成の道筋を考えることができる。
 - ⑤日常の学級会等における話し合い活動の実態から、必要感をもった課題を設定し、繰り返し話し合うことで、個人としても集団としても話し合いへの意欲が高まり、今後の活用が期待される。

(4) 深い学び実現のための手立て

①働かせる「言葉による見方・考え方」

- ①比較・分類し、整理しながら話し合うために、意見の共通点や相違点に着目する。
- ②考えをまとめるために、目的や条件に照らしながら、意見のよさや改善策を関連付ける。
- ③役割を意識し、話し合いが目的に応じて適切に進行するよう、言葉を選んで表現する。

②主に発揮させたい「学びを推進する力」（汎用的な資質・能力）

論理的に思考する力

- 《力の具体》 ・「比較」「分類」の思考方法を用いて、筋道立てて考える力
- 《選択の根拠》 ・「論理的に思考する力」を発揮させたならば、目的や条件を根拠としながら、話し合いの流れや考えを整理できるため。

受容・共感する力

- 《力の具体》 ・他者の考えのよさや違いを受け入れて取り込む力
- 《選択の根拠》 ・「受容・共感する力」を発揮させたならば、意見のよさや違いを受け入れることで、より多くの人が納得できる結論を導き出すことができるため。（合意形成）

③具体的方策

- 方策①意見を整理して話し合いを進行するために、板書を用いて可視化しながら目的や条件に照らして意見の内容を比較・分類する。
- 方策②合意形成に向かう話し合いをするために、音声モデルを用いて、どのような考え方でどのような話し方をすればよいか具体的に捉える。目的や条件に照らして意見のよさを取り入れたり、改善策を考えたりしながら話し合う。
- 方策③上記について、役割に応じて大切なことを自覚し実践していくために、役割ごとに視点を与えて話し合いの様子をモニタリングし、自己評価と相互評価を用いてメタ認知する。

2 単元の学習計画

(1) 単元の評価規準

- [知] ①出された意見を比較・分類し、整理しながら話し合いを進行したり意見を出したり記録したりしている。
 ((2) 情報の整理 イ)
- [思] ①「話すこと・聞くこと」において、役割に応じながら、話し合いの目的や到達点、進行計画を意識して話し合っている。
 ②「話すこと・聞くこと」において、互いの意見の共通点や相違点に着目しながら進行したり、記録したり、意見を出したりしている。
 ③「話すこと・聞くこと」において、意見のよさを取り入れ、考えをまとめている。
 (A 話し合いの進め方の検討, 考えの形成, 共有 オ)
- [主] ①役割を意識しながら積極的に話し合いに参加するとともに、多くの人が納得する結論を目指して、自分たちの話し合いを調整しながら、粘り強く話し合おうとしている。

(2) 指導と評価の計画 (全 8 時間)

次	時	学習活動	指導上の留意点 (発揮させる「学びを推進する力」)	評価規準・ 評価方法等
一	1	<ul style="list-style-type: none"> これまでの経験から、学級での話し合いにおける問題点を挙げ、課題意識をもつ。 学級の問題点を分類し、全体の課題を設定する。 単元で付けたい力を共有し、学習の見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 〈課題を設定する力〉 〈メタ認知する力〉 	
二	2	<ul style="list-style-type: none"> 学習材にある話し合いをもとに、役割や進行計画を確かめる 役割を意識した話し合いのポイントに気付く。 今後の話し合いの役割分担と議題を決め、自分の考えをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> めざす話し合いは、「意見が整理されている」「考えをまとめようとしている」という2点であることを共有する。 役割や進行計画について捉えるために、モデル映像を提示する。 単元内での話し合いにおける自分の役割を明らかにし、見通しをもつために、議題や役割、自分の考えを記入するワークシートを活用する。 <ul style="list-style-type: none"> 〈課題を設定する力〉 〈見通す力〉 	
	3	<ul style="list-style-type: none"> 「整理して話し合う技」について捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いがどう整理されているか目的や条件ごとに板書に位置付ける。 司会者がどう話して話の流れを作っているか確認するためにモデル音声を提示する。 (論理的に思考する力) 	<p>〔知識・技能①〕 <u>観察・</u> <u>ワークシート</u> 目的や条件に対して意見を整理することを理解しているかについての確認</p>
	4	<ul style="list-style-type: none"> 「考えをまとめながら話し合う技」について捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> 「考えをまとめる話し合い」に焦点化するために、前時で整理の段階までを行った板書を用いる。 それぞれの意見のよさに着目する話し合いの仕方を捉えるために、音声モデルを提示する。 互いの意見のよさを見つけたり、改善策を考えたりすることで、合意形成につながることを確かめるために、音声モデルのどの話し方がよかったのか問いかける。 (受容・共感する力) (論理的に思考する力) 	

5	<ul style="list-style-type: none"> 「整理して話し合う技」について確認する。 2グループに分かれ、整理するところまで話し合う。 評価グループは、視点に沿って話し合いを評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> 整理しながら話し合うために、話し合いグループにも評価グループにも「目的や条件に照らして意見を整理しているか」について着目して話し合うことを価値付ける。 〈論理的に思考する力〉 〈評価する力〉 〈メタ認知する力〉 	<p>〔思考・判断・表現①〕 観察・ ワークシート ・役割を意識しているかの確認</p> <p>〔思考・判断・表現②〕 観察・ ワークシート ・目的や条件に照らして意見を整理したり、発言したりしているかの確認</p>	
	6 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 「考えをまとめながら話し合う技」について確認する。 2グループに分かれ、整理まで終わっているところから話し合う。 評価グループは、視点に沿って話し合いを評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> 考えをまとめる方向に話し合うために、話し合いグループにも評価グループにも「それぞれの意見のよさは何か」について着目して話し合うことを価値付ける。 〈受容・共感する力〉 〈論理的に思考する力〉 〈評価する力〉 〈メタ認知する力〉 	<p>〔思考・判断・表現③〕 観察・ ワークシート ・互いのよさを取り入れたり、改善案を考えたりしているかの確認</p>
	7・8	<ul style="list-style-type: none"> 学級全体で話し合う。 単元での話し合いを振り返る。 今後の学習や生活で生かしたい力を確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて途中で自分たちの話し合いを調整するために、「技」に着目するよう助言する。 「役割」「整理」「考えをまとめる」ことについての学びを自覚するようなワークシートを活用する。 〈受容・共感する力〉 〈論理的に思考する力〉 〈メタ認知する力〉 	<p>〔主体的に学習に取り組む態度①〕 観察・ ワークシート ・積極的に話し合いに参加し粘り強く話し合っているかの確認 ・自分たちの話し合いを客観的に評価し、調整しようとしているかの確認</p>

3 本時の指導（6／8時）

(1) ねらい

- 議題1の「考えをまとめる段階」において、それぞれの役割を果たし、目的や条件、互いの考えのよさを関連付けながら、よりよい結論に向かって話し合うことができる。
- 話し合いを評価し、よかったところやうまくいかなかったところを話し合うことを通して、よりよい話し合いにしようと思えることができる。

(2) 展開

学習活動・学習内容（◎主発問）	指導の手立て 〈発揮させる「学びを推進する力」〉（※評価）
1 前時の学習を想起する。 <ul style="list-style-type: none"> 議題に対する考えを出し合い、目的や条件に沿って整理することができたことを想起する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時のワークシート 自己評価欄にある授業感想から、考えを整理する段階においてよかったところを紹介することで、全体での共有を図る。
2 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 1年生との交流会でする遊びを決める話し合いをしよう。（けつろんを出す） </div> <ul style="list-style-type: none"> 考えをまとめる段階で、司会者・参加者がどんな「考えをまとめる技」を使っていたか確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時に意見を整理したものを示し、本時は結論を出すための話し合いをすることを確認する。 意見をまとめる段階での困り感を想起することで、課題点やできるようになりたいことを捉えさせる。 「よりよい話し合いの進め方」の掲示を用いて、考えをまとめる段階での司会者と参加者の役割や使うとよい技を確かめる。

<p>3 グループで議題に沿って役割を意識しながら考えをまとめる話し合いを行う。</p> <p>◎多くの人が納得できる結論にするには、それぞれの考えのどこに目を向ければよかったですか。</p> <p>(1) Aグループが話し合いを行い、Bグループが評価を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><考えをまとめる技></p> <p>司会者</p> <ul style="list-style-type: none"> 出された意見が目的や条件に沿っているかを確認する。 観点に沿って、他の考えとの共通点・相違点が明らかになるよう、発言を促す。 考えのよさに着目させ、話をつなげる。 新たに出された観点を確認する。 課題点の改善策を促す。 考えをまとめる。 <p>参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> 賛成、反対の立場を明らかにしてから理由を話す。 前の人の意見を受けて、自分の考えを話す。 課題点の改善策を出す。 <p>記録者</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな観点や改善策を書く。 困り…意見をまとめる。・矢印…意見をつなぐ。 </div> <p>○今の話合いでは、どんなところがよかったですか。それは、どうしてですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価グループは、気付いたことを伝える。 全体で成果と課題を共有する。よかったところは、技に新たに付け足す。 <p>(2) 参加者グループとモニターグループを交代して、同様の活動を行う。</p>	<p>・考えをまとめる段階では、それぞれの考えのよさに着目できるようにする。そのために、以下の順序で話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①賛成か反対の立場とその理由を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 賛成か反対かの理由を述べる中で、新たな観点(条件やよさ)が引き出されたり、意見の不足部分に対する付け足しや修正案が出されたりした場合、司会グループは、その考えを位置付けるようにする。 <p>②目的や条件を十分満たしている意見に絞る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 不採用になった意見の中にも、よい考えがあったことを取り上げ、他の意見のよさにつなげるようにする。 <p>③絞られた意見をもう一度、批判的思考で見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 絞られた意見を「本当に◎か。」と問うことで、話し合いの見直しを図り、④の「まとめ」につなげていく。 <p>④考えをまとめる。</p> </div> <p>・評価グループは、相手グループの話合いを聞きながら「考えをまとめる技」を使うことができているか評価したり、さらに有効だった進め方を見つけ、話し合いグループや全体に伝えたりする。</p> <p><論理的に思考する力> <受容・共感する力> <評価する力></p> <p style="text-align: right;">(※観察)</p> <p>・考えをまとめる段階において、前の人の意見を受けて自分の考えを述べる(話をつなぐ)ことが大切であることを確かめる。</p>
<p>4 学習を振り返る。</p> <p>(1) 身に付いた言語能力を自覚する。</p> <p>(2) 次時の予告</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・考えをまとめる段階の話合いにおいて、どうしてよい話し合いができたのか、どのように話し合いに関わることができたのかを振り返る。</p> <p style="text-align: right;"><メタ認知する力></p> </div> <p style="text-align: right;">(※ワークシート)</p> <p>・個の振り返りをもとに、全体の新たな課題を確認し、次時への意欲につなげるようにする。</p>

(3) 評価

<p>評価規準 《評価方法》</p>	<p>①目的や条件、互いの考えのよさを関連付けながら、よりよい結論に向かって話し合っている。</p> <p>②話し合いを評価し、よかったところやうまくいかなかったところの理由を考え、よりよい話し合いにしようと考えている。《観察・ワークシート》</p>
<p>見取りの要素と表現例</p>	<p>①目的や条件、互いの考えのよさを関連付けている。</p> <p>◎…発言の促し、逸脱の修正、論点の整理などをしながら、話し合いを進めている。</p> <p>「～というよさが出ていますが、他の案ではどうですか。」など</p> <p>◎…理由付け、付け足し、改善策などを考えながら、話し合いに参加している。</p> <p>「B案は、～という点がA案と同じなので、よいと思います。」など</p> <p>②よい話し合いになった理由や自分がどう話し合いに関わることができたのかについて述べている。</p> <p>「〇〇さんの『～は、どうでしょうか。』という発言は、それぞれのいいところを合わせるという考えを出してくれたので、なっとくしました。」</p> <p>「〇〇さんの『たしかに、そうですね。』の発言は、前の人の話を受け止めていて、よかったです。」など</p>
<p>個に応じた支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの活動においては、役割に応じ、発言したい内容を予め準備しておくようにする。 評価、振り返りの活動では、板書や掲示を用いて使いたい技を確かめ、どれが有効であったかを問う。